

タイムスケジュールと基本方針の内容

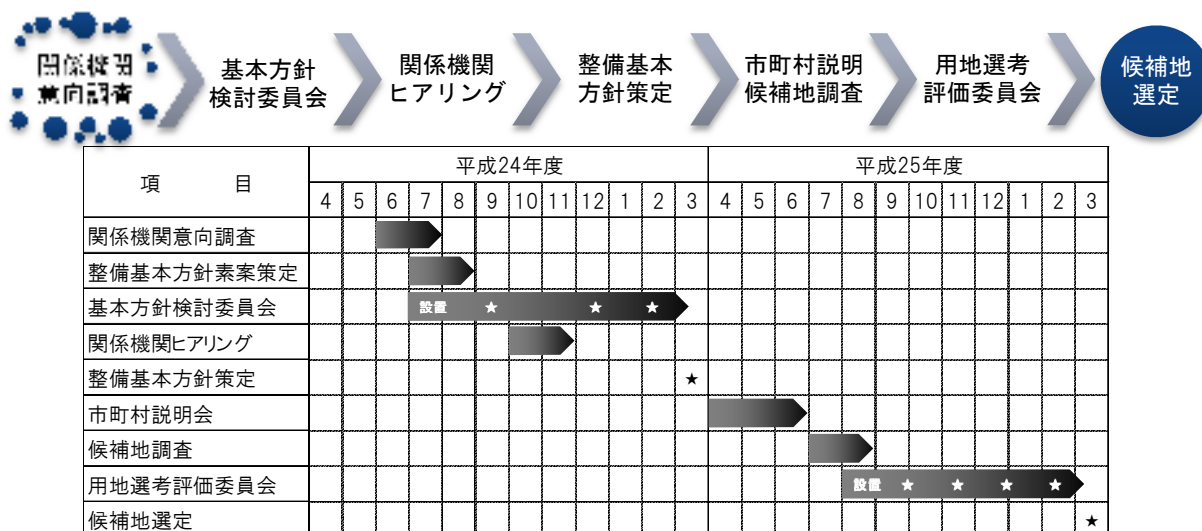
1. 現状

県内で発生する産業廃棄物を埋立処分できる管理型最終処分場は、実質的に「いわてクリーンセンター」のみですが、当該施設の埋立終了時期が東日本大震災・津波による災害廃棄物等の受け入れに伴い、当初計画より4年ほど早い平成32年度末になる見込みです。

新しい処分場の建設には一般的に6年程度必要とされているため、平成25年度までには建設候補地を示すことが必要な状況です。

2. 候補地選定までのスケジュール

平成25年度中に建設候補地を選定するために、以下のスケジュールで業務を進めることとしており、平成24年度は整備基本方針を策定する必要があります。



3. 関係機関意向調査

産業廃棄物協会、医師会、工業クラブ、商工会議所連合会、建設業協会、商工会連合会、農業協同組合中央会、漁業協同組合連合会、森林組合連合会等に管理型最終処分場の現状を説明したうえで、次期処分場の建設地域、アクセス、料金、運営主体等についての要望を調査しました。

4. 基本方針の構成要素

(1) 埋立年数と規模（容量）

災害廃棄物以外の産業廃棄物は毎年3万8千m³ほど埋立てられており、必要な容量は以下のとおりになります。（覆土量は放射能による覆土量の増加を考慮し25%に設定）

年間発生量(万m ³)	埋立期間(年)	埋立量(万m ³)	覆土量(万m ³)	容量(万m ³)
3.8	15	57	14	71
	20	76	19	95
	25	95	24	119

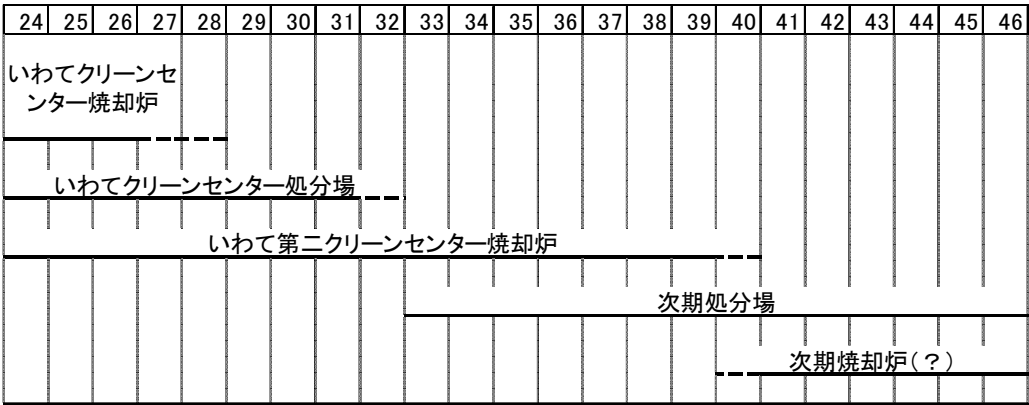
(2) その他の項目

埋立年数、容量の他に、対象廃棄物、候補地選定範囲、同選定方法、運営主体等について想定される内容を盛り込みます。



5. 参考

公共関与産業廃棄物処理施設稼働予想



全体スケジュール

